

医療安全と質を保証する患者状態適応型パス(PCAPS)

H23 年度 PCAPS 研究会 中間シンポジウム

PCAPS の実装と臨床分析

(H23 年度厚生労働科研 がん臨床研究(質評価指標開発研究:飯塚班)中間報告含む)

プログラム

日時：2011 年 9 月 17 日 (土) 10:00 ~ 16:30 終了予定 (途中昼休憩 1 時間)

会場：東京大学 工学部 2 号館 213 号室

はじめに

臨床知識構造化手法 PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス) は、状態適応型介入という医療の本質を反映した臨床知識の構造モデルを提示し、その構造で現実知識コンテンツを記述し、それら知識コンテンツを関係者が利用できる条件を整え、さらに医療経営および臨床知識コンテンツの改善の場を提供する、「医療社会システム」を実現するためのコアツールです。

標準化・最適化された構造化臨床知識は、世に多くの知識が氾濫し、多様な知識・情報提供サービスがビジネスとして成立するなかで、豊かな安全・安心社会実現の基盤に組み込まれるべき、社会が真に求めている知識形態のひとつといえるのではないのでしょうか。

そうした社会ニーズを強く感じながら、PCAPS 研究会は壮大な構想のもとに開発研究を進めてきました。そして、臨床の叡智である「PCAPS 臨床知識コンテンツ」と「実臨床の場」をリンクし知識の再利用を実現する PCAPS-Administrator が臨床現場で運用され始めました。PCAPS-Administrator 上で各医療領域の PCAPS 臨床知識コンテンツを動かすことで、各医療領域毎の質保証されたチーム医療を遂行する臨床マネジメントシステムを実現できます。このような臨床の質マネジメントを地域・病院・診療所・在宅・介護施設等で実現させるため、多様な臨床知識コンテンツの整備が積極的に進められてきました。

本シンポジウムでは、現在複数の領域で進められている PCAPS 実装トライアルの状況と、PCAPS を用いた臨床分析の事例について、また PCAPS が追求している医療の質改善を行う重要なしくみである質評価構造モデルと質評価指標に関する開発研究について、中間報告をいたします。

PCAPS 研究会 代表：飯塚悦功

副代表：水流聡子・棟近雅彦

主催：東京大学工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座

共催：PCAPS 研究会、QMS-H 研究会、(社)日本品質管理学会 (JSQC) 医療の質・安全部会

後援：日本規格協会 (JSA)、PCAPS - IMT コンソーシアム

研究助成：平成 23 年度厚生労働科研がん臨床研究事業 (飯塚班)

平成 23 年度厚生労働科研第 3 次対がん総合戦略研究事業 (若尾班)

平成 23 年度厚生労働科研地域医療基盤開発推進研究事業 (中山班)

日本規格協会 (JSA) 産学連携研究助成

研究協力：厚生労働科研難治性疾患克服研究事業 (梶野班)

司会：水流聡子（東京大学）

午前の部

10:00-10:05

開会の挨拶：PCAPS 研究会のねらい

飯塚 悦功（東京大学）

10:05-10:20

：PCAPS による臨床知識の構造化戦略・活用戦略・事実分析に基づく改善戦略

水流 聡子（東京大学）

10:20-11:10

：PCAPS 実装トライアル報告

- ・ 急性期医療 名取良弘、水野良美、佐野美和子、渡辺恵理子（飯塚病院脳外科）、井手洋陽、成松慧、伊藤勲、浦田吉広、緒方博美（飯塚病院手術部）
- ・ 周産期医療 小口秀紀（トヨタ記念病院産婦人科）、宮崎のどか（トヨタ記念病院産婦人科）
- ・ 訪問看護 佐野けさ美（スギメディカル株式会社）、松木満里子（Accommo.Care Service 株式会社）

11:10-12:00

：PCAPS による臨床分析

- ・ 小児川崎病におけるプロセス分析 藤原優子（慈恵医科大学病院）
- ・ 乳がん 青儀健二郎（四国がんセンター）
- ・ 慢性腎不全（CKD） 藤井直彦（兵庫県立西宮病院）
- ・ リハビリ 井手睦、中島栄子（聖マリア病院）

~~~~~  
12:00-13:00 昼休み（60分）  
~~~~~

午後の部

13:00-13:25

：PCAPS による臨床分析

- ・ 生体肝移植チームの報告 山田貴子、中田知廣、田中紘一（神戸先端医療センター）
- ・ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）における急性増悪時
茂木孝（日本医科大学呼吸ケアクリニック）
堀江健夫（前橋赤十字病院）

13:25-14:35

：「がん診療プロセスの質評価指標開発研究」 [パネルディスカッション]
（「厚生労働科研 がん臨床研究（飯塚班）」成果報告）

- ・ パネルリーダー（研究代表者）：飯塚 悦功（東京大学）
- ・ パネリスト（分担研究者）：
 - ・ 矢野 真（武蔵野赤十字病院）
 - ・ 名取 良弘（飯塚病院）
 - ・ 青儀 健二郎（四国がんセンター）
 - ・ 吉井 慎一（ひたちなか総合病院）
 - ・ 吉岡 慎一（兵庫県立西宮病院）
 - ・ 新海 哲（四国がんセンター）
 - ・ 水流 聡子（東京大学）
 - ・ 棟近 雅彦（早稲田大学）

~~~~~  
休憩（10分）  
~~~~~

14:45-16:25

臨床知識の構造化:ポスターセッション(ラウンド形式,1領域質疑込10分,途中で休憩10分)

ポスターセッション会場は、会場を出た廊下になります。座長の方・発表者は開始10分前にはお集まりください。

ストリーム	ストリーム
<p>座長:名取良弘(飯塚病院)</p> <p>・周術期「術中介入ロジック」 成松慧(飯塚病院)</p> <p>・精神科「2010年度PCAPS検証調査結果からの考察」 中西清晃(石川県立高松病院)</p> <p>・ITシステム実装「PCAPS-Administrator紹介」 森屋功一・万永正信(京セラコミュニケーションシステム)</p>	<p>座長:吉井慎一(ひたちなか総合病院)</p> <p>・腎臓内科「2010年度PCAPS検証調査結果報告」 藤井直彦(兵庫県立西宮病院)</p> <p>・リハビリ「リハビリコンテンツの紹介」 前田亮介・江頭陽子・大塚渉(聖マリア病院)</p> <p>・乳がん「2010年度PCAPS検証調査結果報告」 青儀健二郎(四国がんセンター)</p> <p>・乳癌リンパ浮腫「2010年度PCAPS検証調査結果報告」 河本美由紀(ナグモクリニック福岡)</p>
<p>~~~~~</p> <p>休憩&議論(10分)</p> <p>~~~~~</p>	<p>~~~~~</p> <p>休憩&議論(10分)</p> <p>~~~~~</p>
<p>座長:矢野真(武蔵野赤十字病院)</p> <p>・看護一般「看護思考プロセスナビゲーター」の開発 輪湖 史子(看護協会)・渡邊千登世(北野病院)</p> <p>・訪問看護「訪問看護コンテンツの紹介」 山崎潤子(緑が丘訪問看護ステーション)</p> <p>・COPD「慢性閉塞性肺疾患(COPD)における訪問看護」 浦西郁哉(東京大学大学院)</p> <p>・回復期「血糖管理コンテンツの活用方法」 進藤晃(大久野病院)</p>	<p>座長:小口秀紀(トヨタ記念病院)</p> <p>・周産期「リスクに応じた妊産婦の分散化と集約化」 宮崎のどか(トヨタ記念病院)</p> <p>・消化器外科「消化器外科コンテンツの紹介」 吉岡慎一(兵庫県立西宮病院)</p> <p>・ITシステム実装「PCAPS-Administrator紹介」 森屋功一・万永正信(京セラコミュニケーションシステム)</p>
<p>~~~~~</p> <p>議論(10分)</p> <p>~~~~~</p>	<p>~~~~~</p> <p>議論(10分)</p> <p>~~~~~</p>

16:25

代表総括

飯塚悦功(東京大学)

『医療の質安全保証に向けた臨床知識の構造化(2)
患者状態適応型パス [臨床知識の精緻化・一般化・実装]』(日本規格協会) 定価:5,670円(税込)
飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦監修 患者状態適応型パスシステム研究会編著





【シンポジウム会場】

本会場：東京大学本郷キャンパス工学部2号館213号室

ポスター会場：東京大学本郷キャンパス工学部2号館213号室の廊下

研究会メンバー用昼食会場：工学部8号館7階 702号室・706号室・708号室

研究会メンバー・関係者用懇親会会場：フォーレスト本郷内ルヴェソンヴェール（東京大学構外にあります）

シンポジウム運営組織

代表	飯塚悦功（東京大学）	
副代表	水流聡子（東京大学）, 棟近雅彦（早稲田大学理工学術院）	
運営 スタッフ	<p><PCAPS事務局></p> <p>加藤 省吾（東京大学）</p> <p>下野 僚子（東京大学）</p> <p>小柴 研一（東京大学 共同研究員）</p> <p>黒田 幸清（東京大学 学術支援専門職員）</p> <p>佐藤 典子（東京大学 学術支援専門職員）</p>	<p><学生スタッフ></p> <p>浦西 郁哉（東京大学修士課程）</p> <p>阿部 徹（東京大学修士課程）</p> <p>末政 憲司（東京大学修士課程）</p> <p>谷中 瞳（東京大学修士課程）</p> <p>伊藤 怜史（東京大学工学部）</p> <p>岡元 大輔（東京大学工学部）</p> <p>松岡 賢（東京大学工学部）</p>

問い合わせ先：

PCAPS事務局

E-mail：Office_PCAPS@umin.ac.jp

TEL：03-5841-7301 FAX：03-5841-7276

本研究事業 HP：<http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

注意：カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPSは各種特許申請済みです。